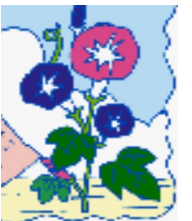




NO. 848
 発行
 2015年
 5月28日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部



安倍内閣は、自民、公明両党が合意した「安全保障法制関連法案」を閣議決定し11法案を国会に提出しました。

今回、国会に提出される一連の「戦争法案」は昨年7月集団的自衛権行使容認の閣議決定にもとづき、憲法が禁じてきた海外での武力行使を具体化する内容で、これまで歴代政府が「専守防衛」政策を理由に憲法上許されないとしてきた解釈をみずから覆し、世界的規模で日本が他国間の戦争に加わる道に扉を開くものです。

これは憲法の理念である平和主義を真つ向から否定し、憲法9条を破棄するに等しい暴挙に他ならず、私たちは断じてこれを容認できません。



『戦争法案』の閣議決定・国会提出に抗議するとともに

安全保障法整備の中止を求める声明

本日、安倍内閣は、自民、公明両党が合意した安全保障法制を構成する11法案を閣議決定し、明日、法案を国会に提出することを決めた。

私たちは、この暴挙に断固として抗議する。

今回、国会に提出される法案は、海外派遣法制と有事法制をまとめて改定する一括法の「平和安全法制整備法」と、恒久法として自衛隊をいつでもどこでも他国軍の戦闘支援に派兵できる新たな法律「国際平和支援法」である。

この「平和安全法制整備法」は、平和・安全というその名称とは裏腹に、実態は米軍など他国軍隊が武力攻撃を受けた時、自衛隊が「集団的自衛権」を行使するというものである。また、一括法案のなかの「重要影響事態法」は現行の周辺事態法を改正し、「周辺」の定義を限りなく拡大して他国軍隊を支援することを名目に、世界的規模で戦争に参加できることを可能とするものである。さらに新法である「国際平和支援法」はこれまでイラク戦争など限定的に特別措置法で自衛隊の海外派遣を行ってきた方式をやめ、恒久法で制約を撤廃し、いつでもどこでも多国軍隊への武器弾薬の提供を行うというものである。

そもそも、日本国憲法第9条は「戦争を永久に放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持せず、国の交戦権を認めない」ことを明確に定めている。今回の『戦争法案』の国会提出は憲法の明文改正もないまま、米国との「切れ目のない」戦争態勢を構築することを目的に、「戦争できる国づくり」のために解釈改憲・立法改憲を強行するものである。自衛隊はこれまでPKO活動等で海外に派遣されているが、一回も銃を発射したことや、一人も銃撃を受けたことがない。まさに、日本国憲法の「戦争放棄」の規定と現行法による自衛隊活動への厳しい制約があるからこそである。

先般、米国を訪問した安倍首相は、オバマ大統領との会談で「日米同盟強化」を強調して「グローバル（地球規模）な射程を有する」と謳った「日米共同ビジョン声明」を発表した。あわせて、沖縄の民意を無視して「辺野古の新基地建設を強行する」と約束すると同時に米国議会では「今国会で安保法制を成立させる」と豪語した。国会でも議論されず、ましてや日本国民の合意もない法案の成立をなぜ他国の議会で約束するのかという怒りと憤りの声が全国各地から沸き起こっている。

国鉄労働組合は、第二次世界大戦の惨禍から、戦後一貫して戦争に反対し、世界の平和を求めて闘ってきた。

また、ベトナム戦争などのあらゆる侵略戦争に反対し、国際連帯を強めて闘い抜いてきた歴史がある。

『戦争法案』の阻止に向け、今こそ広範な人びとと連帯し、共同行動を強め、世論を喚起し、日本の平和と民主主義を守るため、全力をあげて闘うことを呼びかけるものである。

2015年5月14日
 国鉄労働組合

地本主催 組織強化・
 拡大経験交流集会の開催

組織強化・拡大経験交流集会在6月20日土曜日に開催されます。秋田地本から3名、来ていただいて交流を深めます。多くの組合員の出席をよろしく願います。

6月20日14時～地本事務所

2015年 5月5日 第108号



KN山の会たより 新潟市秋葉区善道町1-1-1

KN山の会たより

国 労 新 潟 山 の 会
 発 行 所
 新潟市秋葉区善道町1-1-1
 〒956-0865 ☎ 0250-24-8336
 FAX 0250-24-8337
 2015年5月5日 No. 108号
 発行責任者 大湊 茂
 編集者 野村 正三

粟ヶ岳1293m 山行

とき 4月22日(水)
現地 9時00分集合



粟ヶ岳山頂からバックに守門岳

粟ヶ岳は新潟県の中央部に位置する。登山コースは加茂市の水源を登山口とするコースと、三条市北五百川(きたいもがわ)を登山口とする2つのコースがある。

加茂の水源駐車場9時集合で、時間帯が通勤ラッシュ帯、ナビでは、1時間10分、約1時間で着きました。坂井さんは、新潟市中央区からは約1時間30分かかった。

行程タイム

水源駐車場	9:05
中央登山口	9:21
3合目	9:56
大栃平	10:28
水場分岐	11:06
7合目	11:17
(粟ヶ岳ヒュッテ)	
権ノ神岳分岐	12:00
粟ヶ岳山頂	12:20
(1293m) 休憩	
下山	13:19
7合目	13:56
大栃平	14:28
中央登山口	15:12
水源駐車場	15:28

参加者=大湊・坂井・野村

KN山の会では、久しぶりの粟ヶ岳である。天候晴れ、気温も上がるとのことです。

駐車場から1合目登山口まで約16分丁度、よい準備運動ができる。登山道は良く整備されている。ちなみに山開きは毎年4月29日で、三条側は5月5日だそうです。

「大栃平」は見晴らしの良い「守門岳」の眺めが最高。この先の登りはきつそうだが～「水場分岐」～水場まで80mと表示されているが…

山小屋(粟ヶ岳ヒュッテ)のある「7合目」きれいな小屋です。もうバテバテ気味ですが。

8合目を越し、北峰を過ぎると後は気持ちの良い雪渓歩き、左側には大きなクレパスが口を開け覗き込むと数メートルの深さが有ります。落



ちると出るのに苦労するでしょう。南峰を越し最後の雪渓を登りやっとの思いで山頂に着く。ノンアルコールでカンパイ、坂井さんにハブニングせっかく担いできたビールを一口飲んで地面に飲ませてしまい残念。下山は、来た道を下り、加茂七谷コミュニティセンターで入浴料1000円で汗を流しました。大湊さんは、一刻も早くビールを飲みたいので入浴せずに帰った。

二王子岳 1420.1m 山行

天候快晴で4月前半は寒い日が続いていたが、中旬ごろから非常に安定し雪解けも早まっている。山菜も雪解けを待ち芽を出しは始めている、早くなっている処もあるようだ。

4月30日(木) 快晴

行程タイム

国労事務所前出発	7:30
二王子神社到着	8:55
二王子神社出発	9:05
一王子	9:57
(5分休憩)	
五合目(独標)	10:37
(5分休憩)	
九合目	11:52
二王子岳山頂	11:55
下山	12:57
五合目(独標)	13:44
二王子神社前	14:38

休みになると山菜取りや、山登りと忙しい日が続いている。

国労事務所7時30分集合で二王子神社前には、5～6台の車が止まっていた。3合目から雪道に入り新緑と鳥のなき声、雪に青空のコントラストが鮮やかで感動的です。7合目ごろには、疲れもピークにしないで遅れるが、何とかついて行き山頂に。

頂上からは大日岳、御西岳、飯豊山、北股岳といった飯豊山地の眺望。越後平野を一望、ボンヤリ日本海まで望めました。

帰りには、新発田温泉あやめの湯で(入浴料400円)二王子岳が一望できる。無料で足湯もあります。

私事ですが下山時に雪道で足首に違和感が…翌日足が動かなく捻挫していた。第86回メーデーには参加しました。

1967m

巻機山の案内

とき 4月13日(水)・14日(木)
 集会所 国労事務所まえ 早朝5時
 宿泊 やまご民宿 Tel.025-782-3402



86回メーデー

